

力 ガ ク で
ネ ガ イ を
力 ナ イ ル 会 社

kaneka



カネカ生分解性ポリマーGreen Planet™

独自の技術の融合で 地球規模の環境問題に答えを出す。

マイクロプラスチックによる海洋汚染が世界的な社会問題となっている昨今。

カネカでは独自の発酵技術と高分子技術を融合させ、ストローやレジ袋などに加工できる

バイオポリマー「カネカ生分解性ポリマーGreen Planet™」を開発しました。

植物油を原料に、微生物によって生み出されるGreen Planet™は、土の中だけでなく、

これまで難しかった海水中での生分解が可能に。

プラスチックによる海洋汚染に対して、大きな解決の糸口として期待されています。

01



目標12
(持続可能な生産と消費)

持続可能な生産消費形態を確保する

目標14
(海洋資源)

持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

私たちの技術。
どちらかではなく
どちらも支えるのが
産業の発展と環境保全の

太陽電池

02

産業の発展と環境保全の両立の鍵を握るエネルギー問題。
カネカでは、その課題を自家発電という形で解決するために
ガラス窓のように設置できる「シースルーパネル太陽電池」や
自動車のボディーに組み込まれる意匠性の高い太陽電池を開発しています。
使うエネルギーを、自分たちでクリーンに創り出す。そうすることで
産業の発展のために環境を引き換えてきました。
これまでの歴史に終止符を打つことができると思っていました。



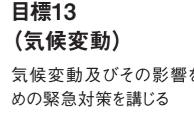
目標7
(エネルギー)

すべての人々に、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



目標11
(持続可能な都市)

包摂的で安全かつ強靭(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する



目標13
(気候変動)

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

03



9 産業と技術革新の
基盤をつくる

目標9
(インフラ、産業化、イノベーション)
強靭(レジリエント)なインフラ構築、包摶的
かつ持続可能な産業化の促進及びイノベー
ションの推進を図る



目標11
(持続可能な都市)
包摶的で安全かつ強靭(レジリエント)
で持続可能な都市及び人間居住を実
現する

IOT/AI時代への ソリューションを 提供する。

5G
対応
素材

IOT時代の到来に伴い社会にさまざまな革新がもたらされ、人々の生活をプラスティックに変えようとしています。そんな中カネカは多様な新素材を提供し、「高速大容量の「データ通信」「センシング革命」「情報ディスプレイ」の革新的な進歩」の実現に貢献します。高速大容量データ通信を支える新規格である「5G」対応素材として電気エネルギー損失を世界最高レベルまで低減するなど、高周波対応の超耐熱ポリイミドフィルムを開発するなど、IOT/AI時代を素材の力で切り拓きます。



バイオ事業

最先端のテクノロジーで 人の命と健康を支えることに 挑戦し続ける。

環境や食・健康の問題など、カネカの事業において最も関わりのある分野とも言えるバイオ事業。

植物の成長を安心・安全に促進する高機能の肥料や、育種期間を大幅に短縮する技術の開発などに尽力しています。

中でも、近年私たちの技術が強く求められているのが医療分野です。

バイオ技術と合成技術を基幹として、合成医薬品からバイオ医薬品、ウイルス検査薬に至るまでさまざまな形で医療に貢献しています。また、WITHウイルスが求められる昨今では、

組織を横断したチームを立ち上げ、感染症対策への技術提供をさらに強化しています。

04



目標2
(飢餓)
飢餓を終わらせ、食料安全保障
及び栄養の改善を実現し、持続
可能な農業を促進する



目標3
(保健)
あらゆる年齢のすべての人々の
健康的な生活を確保し、福祉を
促進する

カネカは 世界を 健康にする。

カネカは、環境をあるべき姿にする。食べ物を健やかにする。

人間や動物を元気にする。ビジネスに活気を与える。

そして社会を明るくする。

この世界を「健康」にしていくために。

カネカは、ますますカガクにできることを広げ、

さまざまなソリューションを通じて、

社会と人々の願いをかなえていきます。

カネカの事業や製品の多くは、長年の努力が実を結び、
世界各国・各地域でエッセンシャルビジネスとして使われています。
社会は想像を超えたスピードとスケールで価値観・システムが
大きく変化しています。
企業は前例にとらわれることなく、
新しいビジネスモデルの創出なくしては生き残れません。
「化学」の化ける力は、さまざまな地球規模の課題を解決する
無限の可能性に富んでいます。
カネカにとっては大きな飛躍のチャンスです。
私たちカネカは、カガクという「不思議の海」の冒険を通して、
地球規模の行動を続け、
人間性の回復に貢献し「命を育む社会を支える」
健康経営を進めてまいります。



R&B(リサーチ&ビジネス) 戦略を通して 社会の課題を1日も早く解決し、 世界に健康を届ける。

カネカは研究・開発の目的を「マーケットとお客様の目線に立った先端技術の積極的な価値追求により1日も早く社会課題を解決すること」と定め、それを「R&B(リサーチ&ビジネス)」と再定義しました。私たちがソリューションを提供する事業ドメインは「Material Solutions Unit」「Quality of Life Solutions Unit」「Health Care Solutions Unit」「Nutrition Solutions Unit」の4つ。

これらを通じて、地球が抱えるクライシス(危機)に立ち向かい、経営ビジョンとして掲げる「Wellness First」を実現します。

薬剤塗布型バルーン技術

細胞分離・培養技術

微生物によるバイオ医薬品製造技術

バイオ・有機合成技術

精密重合技術

吸着分離技術

バイオ技術

樹脂発泡技術

粉体造粒技術

機能性フィルム加工技術

樹脂変性・配合技術

OLEDデバイス設計技術

紡糸技術

金属微細加工技術

熱硬化性樹脂配合・加工技術

薄膜形成技術

高分子技術

自社開発技術

発酵技術

自社開発技術と導入技術の融合

R&Bのドライビングフォース

R&B戦略の実現に向けて、カネカでは4つの事業ドメインを設定。これらの領域でさらなる技術革新を図り、事業モデルの拡大、そして新たな事業モデルの創出を推進します。



キードライバーテクノロジー

エネルギー・マネジメント



瓦一体型太陽電池

ポリイミド樹脂



超耐熱ポリイミドフィルム

生分解性樹脂



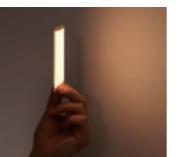
生分解性ポリマー

エネルギー・マネジメント



建材一体型モジュール

OLEDデバイス



有機EL照明

次世代育種技術



ゲノム編集作物

食料生産支援



新高機能性肥料

カテール



薬剤塗布型バルーンカテール

再生・細胞医療



iPS細胞・幹細胞

解決すべき3つのクライシス

カネカが重点分野として位置付けているものがあります。それが「環境・エネルギー」「食糧」「健康」という、地球が抱える3つのクライシスです。これらの課題を解決することが、豊かな未来を切り拓くために必要不可欠だと考えています。

環境・エネルギーのクライシス



「カネカ生分解性ポリマー Green Planet™」を使用した地球に還る食品包装や、建築物の壁面などにも設置できる「太陽光発電システム」などを開発することで、全ての人がクリーンで持続可能な資源とエネルギーを使える社会を目指します。

食糧のクライシス



天候不順や環境変化に強い作物や、作物の育成スピードを上げる肥料の開発、酪農家と協業による「高付加価値乳製品」の生産など、全ての人に安心・安全で栄養価が高い食料が行きわたり、作り手側も幸せな社会を実現します。

健康のクライシス



身体の健康を維持、増進するために、安心で効果の高いサプリメントの開発、難治性疾患をはじめとするさまざまな疾患の治療への貢献など、全ての人が適切な医療サービスにアクセスでき、健康で生き生きと輝き続ける社会をつくります。

組織の枠にとらわれず 最適なチーム編成で R&B戦略を加速させる。

R&B戦略で重点分野と位置付けている「環境・エネルギー」「食糧」「健康」。

カネカでは、これらのテーマに対して、各Solutions Vehicleにひも付く研究部門があり、SVと事業の総合的かつ戦略的なソリューションの展開を行っています。一方で縦割りの組織編成にこだわるのではなく、国内の研究所を横断するチーム体制を整え、課題解決のスピードアップを図っています。そうした組織の構築は、国内だけにとどまりません。

カネカの海外拠点はもちろん、最先端の技術を持つ諸外国の研究所とも連携を図り、実装化に向けた研究開発を強化しています。

R&B戦略を実現する研究体制

国内研究所

マーケットインに基づくソリューションの提供を行うため、部門の壁を越えたネットワーク型連携やオープンイノベーションを積極的に推進しています。

Material Solutions New Research Engine

機能性樹脂分野における先進的な新技術・新製品の技術開発を行います。

エレクトロニクス研究所

エレクトロニクス分野における独創的な新技術・新製品の技術開発を行います。

バイオテクノロジー研究所

バイオテクノロジー分野、ファインケミカルズに関する新技術・新製品の研究開発を行います。

再生・細胞医療研究所

再生・細胞医療に関するデバイス、細胞、および治療などに関する新技術・新製品の研究開発を行います。

太陽電池・薄膜研究所

薄膜形成技術、デバイス化技術により太陽電池・透明電極を展開させた新製品開発を行います。

生産技術研究所

プロセス設計技術や化学工学的解析技術をベースに、装置型および組み立て型事業領域のプロセス開発や生産技術の開発を行います。

プロセス開発研究所

太陽電池・有機EL照明・樹脂加工・精密成型加工製品などの事業領域の革新的なプロセス開発や生産技術の開発を行います。

Green Planet 技術研究所

生分解性ポリマーに関する物性研究、配合・加工・評価についての技術開発を行います。

オープンイノベーション

カネカはオンリーワン、グローバルナンバーワンの優れた素材の創出を目指し、国内外の大学・公的研究機関などとの連携によるオープンイノベーションを推進しています。

（主な拠点）



カネカ太陽電池研究室

拠 点:ベルギー ルーベン
活動内容:imec内に設置。世界最高効率の太陽電池研究を推進。



カネカUSイノベーションセンター

拠 点:アメリカ合衆国 カリフォルニア
活動内容:「健康」「情報通信」の研究・新規事業開発に加え、M&Aを含むオープンイノベーションを推進。

TOPIC

ルーヴァン・カトリック大学

2020年10月にバイオ医薬品のCDMO事業を強化・拡大するため、革新的な生産技術開発に関する共同研究契約を締結。高価な医薬品のコスト低減などの社会的な問題に応え、ウイルス感染症向けワクチンやバイオ医薬品の普及を目指します。



素材の可能性を
最大限に引き出し、
あらゆる分野の革新に
貢献する。

Material Solutions Unit

Material SU

Quality of Life SU

Health Care SU

Nutrition SU



私たちの生活になくてはならない存在となったプラスチック製品。カネカは、その素材となる塩化ビニル樹脂の一貫生産、さらには、環境保全に寄与するバイオポリマーの開発などに取り組んでいます。また、耐熱性や耐候性・難燃性など、さまざまな機能を持った樹脂素材も積極的に展開。建築・工業・自動車・家電・情報機器など幅広い分野において、素材の力で答えを出します。

Vinyls and Chlor-Alkali Solutions Vehicle

塩化ビニルモノマーからポリマー、特殊塩化ビニル樹脂まで一貫して生産しています。
日常生活やライフラインを支える製品群として、これからも社会に貢献していきます。



Performance Polymers (MOD) Solutions Vehicle

耐熱性や耐候性・難燃性など、さまざまな機能を持った樹脂素材が、
建築分野や自動車・家電・情報機器など、幅広い分野でテクノロジーを刺激し、日常生活やライフラインを支えています。



Performance Polymers (MS) Solutions Vehicle

カネカがユニークな樹脂素材を提供することで、耐候性・高弾性・接着性などに優れたシール材・接着剤・コーティング材が作られています。
建築・工業・情報機器など幅広い分野において、さまざまなソリューションを提供しています。





樹脂の種類や成形方法、発泡倍率を変えることで、さまざまな機能を持つ成形品を実現する発泡樹脂。それは、緩衝包装材や自動車部材、住宅の断熱材として「食・住」の分野でより便利で快適な暮らしの実現に役立っています。また、情報機器に対する排熱処置技術の提供、景観を損なわない太陽光発電システムの開発など、省エネルギー化とスマート化へのニーズに対し独自の素材とサービスを提供。人々の暮らしの質の向上を実現しています。

Foam & Residential Techs Solutions Vehicle

緩衝包装材や魚箱、住まいを快適にする断熱材や車の軽量化と安全性を実現させるバンパー芯材、定温輸送パッケージの一部として、私たちの暮らしを豊かにしています。



E & I Technology Solutions Vehicle

エレクトロニクス製品がより小さく高性能で美しくなっていくのも、化学のアプローチの成果です。
新しい価値の創造が、先端分野をリードし、私たちの生活を快適にしています。



PV & Energy management Solutions Vehicle

自然再生エネルギーの有力なソリューションの1つである太陽電池。
住宅の屋根だけではなく、窓・壁そのものが発電する
建材一体型太陽電池で
独自のエネルギーソリューションを提供します。



Performance Fibers Solutions Vehicle

人々の暮らしに欠かせない繊維製品。
世界でも特色のある繊維「カネカロン」を生産し、
国際的な製品としてあらゆる生活シーンで、
消費者に新しい価値を提供しています。



医療を進化させ、
健やかな365日を
最前線で支え続ける。

Health Care Solutions Unit

Material SU

Quality of Life SU

Health Care SU

Nutrition SU



人々の命、健康を守ることは、私たちの大切な使命の一つです。カネカでは高分子とバイオの二つの基幹技術を基盤に、医療用製品の開発や、医療技術の進化に寄与しています。常に現場の声に耳を傾けながら、今求められている医療にいち早く力がかりのチカラで応える。そうして、常に最前線で医療を支えています。

Medical Solutions Vehicle

血管内治療用カテーテルや血液浄化システムなど、
さまざまなイノベーションを実現しています。

広範なラインアップにより幅広い治療ニーズに応える製品を提供し、
医療技術の進化に貢献しています。



インターベンション
血管狭窄部拡張用
バルーンカテーテル



インターベンション
脳動脈瘤塞栓コイル



血液浄化
リポソーバー



消化器用医療機器
高周波止血鉗子



再生・細胞医療
細胞濃縮洗浄システム



遺伝子検査診断
関連製品

Pharma & Supplemental Nutrition Solutions Vehicle

バイオ技術と合成技術を基幹とし、
合成医薬品から最先端のバイオ医薬品に至るまで、
幅広い分野で医薬に貢献しています。

世界中の医薬品メーカーに価値あるソリューションを提供し続けます。



低分子医薬品、API



バイオ医薬関連



抗体医薬精製用
アフニティ担体
KANEKA KanCapTM



経皮吸収型医薬品

力ガクのチカラを武器に、
食と健康、そして酪農に
イノベーションを。

Nutrition Solutions Unit

Material SU

Quality of Life SU

Health Care SU

Nutrition SU

製パン・製菓を中心とした食品加工素材市場においても、ソリューションを提供しているカネカ。変化する消費者の好みやニーズに対して、おいしさと機能性を兼ね備えた素材、高付加価値な製品を開発し、提供しています。食文化の創造に貢献すると同時に、農業・酪農の生産支援にも寄与します。

Pharma & Supplemental Nutrition Solutions Vehicle

これまで難しかった還元型コエンザイムQ10の量産化方法を確立するなど、長年培った発酵技術をベースに機能性食品素材を展開しています。
世界中の人々の健康への願いに貢献します。

機能性食品素材
カネカQH®(還元型
コエンザイムQ10)

サプリメント
わたしのチカラ™
サプリメントシリーズ

カネカ植物由来乳酸菌
カネカ・ラブレ

AB Bioticsヒト由来乳酸菌
Floradapt®シリーズ

その他機能性食品
カネカ・グラボノイド など

Foods & Agris Solutions Vehicle

より深く、よりバラエティ豊かに、新しいおいしさを求める食のマーケット。発酵や油脂加工など多彩な技術の融合により食の価値を高めるソリューションを提供します。

ポンドマーガリン／
シートマーガリン
ノヴァ®／エンペラー®

チョコレート用油脂
ベルコ®

ホップクリーム／
濃縮加工乳
フランデ®／フランジエ®

香辛料

牛乳・乳飲料
「パン好き」シリーズ

ヨーグルト
わたしのチカラ™
Q10ヨーグルト

17

18

The Dreamology Company

Make your dreams come true

カネカは1949年の創業以来、人と技術の創造的融合により時代や環境の変化を乗り越え、成長してきました。

生み出した数多くの製品は、豊かな生活に欠かせない商品に使用され、事業はライフサイエンスから食品と幅広い分野に及び、日本はもとより世界の人々の暮らしにさまざまな価値を提供しています。



カネカの経営理念体系

KANEKA UNITED宣言

2009年の創立60周年を契機に、次の時代へつながる「変革」と「成長」を実現するために、新しい企業理念、カネカの目指す企業像を制定しました。また、「Environment(環境)」「Social(社会)」「Governance(企業統治)」の取り組みを強化することを経営方針として、社会の諸課題の解決に積極的に取り組んでいきます。

人と、技術の創造的融合により
未来を切り拓く価値を共創し、
地球環境とゆたかな暮らしに貢献します。



もっと、驚く、みらいへ。

思い描いた未来を、その手に。
先見的価値共創グループ(Dreamology Company)
お客様と同じ未来を、同じ立場で見つめたい。
カネカの描く未来は、お客様とつながる未来です。
※Dreamologyはdream(夢)とlogy(学)を合成した造語で、
Dreamology Companyは「先見的価値共創グループ」を表します。

5つの「つなぐ」

1. 未来をつなぐ

研究開発型企業として、創意と情熱を持ち、市場ニーズを先取りした事業創造・新製品開発を行い、地球環境とゆたかな暮らしに貢献します。

2. 世界をつなぐ

多様な人材がグローバルに活躍し、新興国を含めた世界の市場で存在感のある、真のグローバル企業を目指します。

3. 価値をつなぐ

カネカグループとしての一体感を大切にし、お互いに協力し、ともに価値創造と事業展開に取り組みます。

4. 革新をつなぐ

組織の壁や従来のやり方にとらわれず、社内外の知恵を融合し、絶えず革新に向けてチャレンジしていきます。

5. 人をつなぐ

カネカグループの成長の源泉は「人」にあると考え、人の成長を大切にしてイノベーションを実現します。

企業理念を実現するための一人ひとりの行動指針

1. カガクで世界の人々の人生と環境の進化に貢献し、価値あるソリューションをグローバルに提供します。

- ① 化学素材の無限の可能性を引き出し、持続可能型社会を支え、地球環境と生活の革新に貢献します。(Earthology Chemical Solution)
- ② 化学を軸に、食と医療を一つにとらえ、人々に健康で活力のある人生をもたらす革新的なソリューションを提供します。(Active Human Life Solution)

2. 一人ひとりの真摯で前向きな努力による企業理念の実現を通じて、社会的責任を果たします。

- ① それぞれの国や地域の文化・慣習を理解して、地域に根ざした企業活動を行い、積極的に社会に貢献します。
- ② 法令を遵守し、自由競争に基づく公正な事業活動を行います。
- ③ 株主をはじめとするすべてのステークホルダーとのコミュニケーションを重視し、適切な情報開示を行います。
- ④ すべての社員の人格や個性を尊重して、全員が健康で働きがいを感じ、能力を最大限発揮できる企業風土を作ります。
- ⑤ 安全を経営の最重要課題と位置づけ、健全かつ安全な職場環境づくり、製品の安全性確保、地球環境の保護に取り組みます。

カネカグループは、ESG経営への進化を目指し、2018年にESG憲章を制定しました。

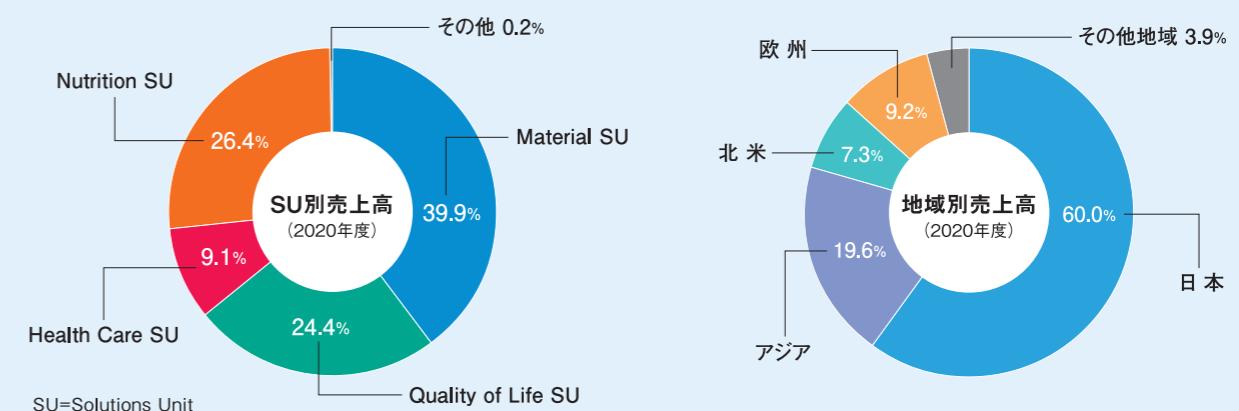
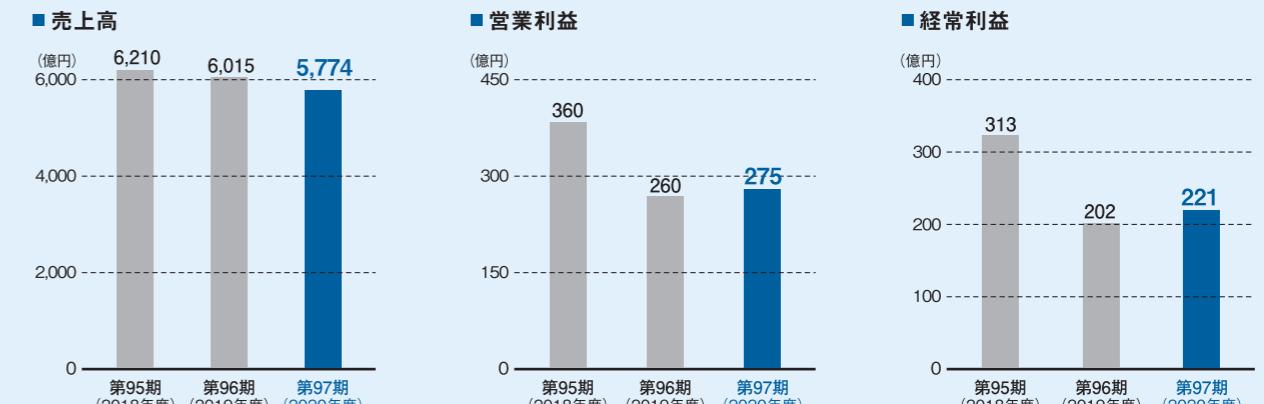
■会社概要

名 称：株式会社カネカ
(英文名称 KANEKA CORPORATION)
代表取締役：社長 田中 稔
設 立：1949年9月1日
東京本社：〒107-6028 東京都港区赤坂1-12-32
(アーク森ビル)
TEL 03-5574-8000 FAX 03-5574-8121
大阪本社：〒530-8288 大阪市北区中之島2-3-18
(中之島フェスティバルタワー)
TEL 06-6226-5050 FAX 06-6226-5037
資 本 金：330億46百万円
社 員 構 成：社員数(連結)11,272名(単独)3,551名(2021年3月31日現在)
事 業 内 容：
(Solutions Vehicles) Vinyls and Chlor-Alkali、Performance Polymers (MOD)、
Performance Polymers (MS)、Foam & Residential Techs、
E & I Technology、PV & Energy management、
Performance Fibers、Medical、
Pharma & Supplemental Nutrition、Foods & Agris

営 業 所：
工 場：
研究 所：
連絡子会社：

- 名古屋営業所(愛知県)052-959-5761
- 高砂工場(兵庫県) 079-445-2500
- 大阪工場(大阪府) 072-650-2600
- 滋賀工場(滋賀県) 077-577-2100
- 鹿島工場(茨城県) 0299-96-2341
- Material Solutions New Research Engine
(大阪工場内)
- エレクトロニクス研究所(大阪工場内)
- バイオテクノロジー研究所(高砂工場内)
- 再生・細胞医療研究所(神戸MI R&Dセンター内)
- 太陽電池・薄膜研究所(大阪工場内)
- 生産技術研究所(高砂工場内)
- プロセス開発研究所(大阪工場内・豊岡開発センター内)
- Green Planet技術研究所(大阪工場内)

89社



日本、そして世界で。 このネットワーク力がグループ力。

カネカのネットワークは国内に限らず、ヨーロッパから始まり、アメリカ・アジアへと広がっています。
各地域に統括会社を置き、より地域に密着しスピーディな事業展開を行っています。



国内グループ企業

Vinyls and Chlor-Alkali Solutions Vehicle

- 東武化学(株)【茨城県】
- 昭和化成工業(株)【埼玉県】
- 龍田化学(株)【東京都】
- サンビック(株)【東京都】

PV & Energy management Solutions Vehicle

- カネカソーラー販売(株)【大阪府】
- カネカソーラーテック(株)【兵庫県】

その他

- (株)カネカ北海道【北海道】
- OLED青森(株)【青森県】
- カネカ保険センター(株)【大阪府】
- (株)カネカ高砂サービスセンター【兵庫県】

Performance Polymers (MS) Solutions Vehicle

- セメダイン化工(株)【茨城県】
- セメダイン(株)【東京都】
- セメダイン販売(株)【東京都】
- セメダインケミカル(株)【岡山県】

Foam & Residential Techs Solutions Vehicle

- 北海道カネライト(株)【北海道】
- カネカ北海道スチロール(株)【北海道】
- 玉井化成(株)【北海道】
- カネカ東北スチロール(株)【宮城県】
- カネカ関東スチロール(株)【茨城県】
- 関東スチレン(株)【栃木県】
- ダイヤケミカル(株)【栃木県】
- カネカケンテック(株)【東京都】
- (株)カネカソーラーサーキットのお家【東京都】
- (株)羽根【愛知県】
- カネカ中部スチロール(株)【三重県】
- カネカフォームプラスチックス(株)【東京都】
- 高知スチロール(株)【高知県】
- 九州カネライト(株)【福岡県】
- カネカ西日本スチロール(株)【佐賀県】
- (株)イーピーアイ【東京都】
- イビデン樹脂(株)【岐阜県】

E & I Technology Solutions Vehicle

- 栃木カネカ(株)【栃木県】
- (株)ヴィーネックス【香川県】



海外グループ企業

● 海外子会社および事業所 ■ 海外研究拠点



EUROPE/AFRICA

- カネカヨーロッパホールディングカンパニー N.V.
- カネカベルギー N.V.
- カネカメディカルヨーロッパ N.V.
- カネカユーロジエンティック S.A.
- カネカモディフィアイヤーズディチュラント GmbH
- ヨーロジエンテックディチュラント GmbH
- ヨーロジエンテックプロテオミクス GmbH
- ヨーロジエンティック Ltd.
- ヨーロジエンティックフランス S.A.S.U.
- ヨーロジエンテックネーデルラント B.V.
- AB-Biotics, S.A.
- カネカアフリカリエゾンオフィス
- カネカ太陽電池研究室

ASIA/OCEANIA

- 鐘化企業管理(上海)有限公司
- 鐘化貿易(上海)有限公司
- 鐘化(蘇州)緩衝材料有限公司
- 青島海華繊維有限公司
- 鐘化(佛山)高性能材料有限公司
- 思美定(上海)貿易有限公司
- 大連昭和塑料加工有限公司
- カネカマレーシア Sdn. Bhd.
- カネカエブラン Sdn. Bhd.
- カネカバーストボリマー Sdn. Bhd.
- カネカイノベイティブファイバーズ Sdn. Bhd.
- カネカアビカルマレーシア Sdn.Bhd.
- カネカMSマレーシア Sdn. Bhd.
- カネカシンガポール Co. (Pte) Ltd.
- AB-Biotics Pte.Ltd.
- カネカメディカルベトナムCo., Ltd.

THE AMERICAS

- カネカアメリカズホールディング Inc.
- カネカノースアメリカ LLC
- カネカメディカルアメリカ LLC
- カネカエロスペース LLC
- アナスペック Inc.
- セメダイノースアメリカ LLC
- ヨーロジエンテックノースアメリカ Inc.
- カネカサウスアメリカプレゼンタティブ Ltd.
- カネカUSインベーションセンター



変革と挑戦の歴史が原動力。

カネカの約70年の歴史は、決して順風満帆な道のりではありませんでした。

次々に襲いかかる想定外の困難に果敢に立ち向かい、乗り越えてきた挑戦の歴史そのものです。逆境を跳ね返し、飛躍する。PainをGainに。この熱い思いこそ、カネカのDNAです。



創業～1990's



2000's～



- 1949** ●「鐘淵化学工業株式会社」資本金2億円で創立
●塩化ビニル樹脂「カネビニール」を開発①
- 1950** ●塩ビ被覆電線を生産開始
- 1953** ●マーガリンに加えて、ショートニングの本格生産開始
- 1957** ●アクリル系合成繊維「カネカロン」を開発・生産開始②
- 1960** ●高砂工業所に「カネビニール」プラント完成・稼働
- 1964** ●MBS樹脂「カネエースB」を開発、生産開始
- 1965** ●ビーズ法発泡ポリスチレン樹脂「カネパール」を開発、生産開始
●カネカロン洋かつら「フォンテーヌ」販売開始(1985年譲渡)
- 1967** ●塩化ビニルベース樹脂「カネビニールベースト」を開発、生産開始
- 1968** ●耐熱塩化ビニル樹脂「耐熱カネビニール」を開発、生産開始
●ヨーロッパ事務所・ニューヨーク事務所設置
- 1970** ●押出発泡スチレンボード「カネライトフォーム」を開発、生産開始
●カネカベルギー設立③
- 1971** ●カネカアメリカ設立
- 1973** ●ビーズ法発泡ポリエチレン成形品「エペラン」を開発、生産開始
●高分子複合磁性体「カネカフラックス」を開発、生産開始
- 1974** ●肝臓薬バルク「グルタチオン」を発酵法により開発、生産開始
- 1977** ●代謝性強心剤バルク「ユビデカレノン(CoQ10)」を発酵法により開発、生産開始
- 1978** ●耐候性MMA系フィルム「サンデュレン」を開発、生産開始
- 1979** ●カネカシンガポール設立
●変成シリコーンポリマー「カネカMSポリマー」を開発、生産開始
- 1980** ●医薬中間体HPGを企業化
- 1982** ●カネカテキサス(現:カネカノースアメリカ)設立
- 1983** ●「AMMPA」(血圧降下剤中間体)を企業化
●アクリルシリコン系ポリマー「ゼムラック」を開発、生産開始
- 1984** ●アモルファスシリコン太陽電池を開発、企業化
●超耐熱性ポリイミドフィルム「アピカル」を開発、生産開始
- 1985** ●ビーズ法発泡ポリプロピレン成形品「エペラン-PP」を開発、生産開始④
- 1986** ●血液浄化システムを企業化、膜型血漿分離器「サルフラックス」とLDL(低密度リボタンパク)吸着器「リボソーバー」を生産開始
- 1987** ●カネカダイツ(現:カネカファーマヨーロッパ)設立
●カネカロン原液着色紡糸法で繊維学会・技術賞受賞
- 1989** ●アライドアピカル社(現:カネカノースアメリカ)設立
●血液浄化システムの開発と工業化で'88年度高分子学会賞受賞
●射出成形用エンジニアリング樹脂「ハイパーライト」を開発、生産開始
- 1990** ●アライドアピカル社で「アピカル」生産開始
- 1991** ●全身性エリテマトーデス治療用の吸着器「セレソーブ」発売
- 1992** ●上海鐘淵化学応用技術設立
- 1994** ●透析アミロイド症治療用の血液浄化器「リクセル」製造承認取得
●カネカファーマヨーロッパ設立
- 1995** ●光学用透明フィルム「エルメック」を企業化⑤
●カネカマレーシア設立
- 1996** ●カネカエペラン設立
- 1997** ●カネカファーマアメリカ設立
●カネカマレーシアでエペラン、MBS樹脂の生産を開始
●カネカハイテックマテリアルズ(現:カネカノースアメリカ)を設立し、アライドアピカルの事業を引き継ぐ
●ポリイソブチレン系液状樹脂「エピオン」プラントが鹿島工場に完成
●カネカベルギーで「MSポリマー」生産開始
- 1998** ●中国上海市に鐘化諮詢(上海)有限公司(現:鐘化貿易(上海)有限公司)設立
●アモルファスシリコン太陽電池を製造するカネカソーラーテックを設立
- 1999** ●カネカペーストポリマー設立

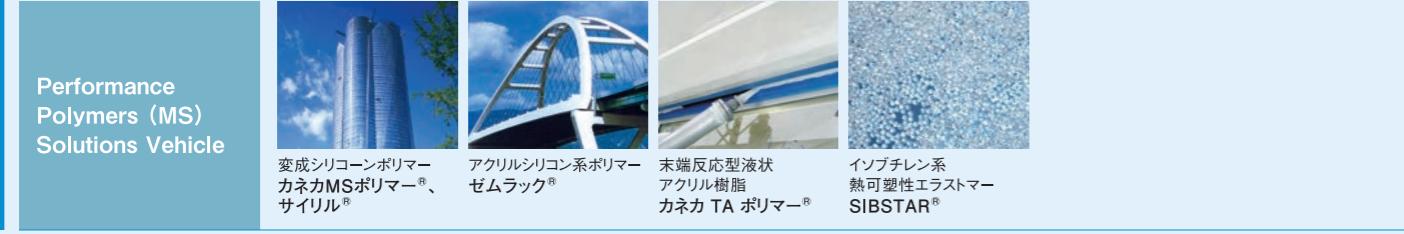
- 2000** ●保温板3種で初めてノンフロン・ノンハログン発泡剤タイプ「カネライトフォーム」の開発に成功
- 2002** ●機能性食品素材「カネカ・コエンザイムQ10」発売⑥
●国産初、脳動脈瘤塞栓用コイルを発売開始
- 2003** ●蛋白繊維を開発し、青島海華繊維有限公司設立
●蘇州愛培朗緩衝塑料有限公司(現:鐘化(蘇州)緩衝材料有限公司)設立
- 2004** ●「鐘淵化学工業株式会社」から「株式会社カネカ」に商号変更
- 2005** ●業界初、塩素含有アクリルグラフト共重合樹脂「PRICTMER」の開発に成功
- 2006** ●世界初、ポリアクリレート系反応硬化型テレケック液状樹脂の工業化に成功
- 2007** ●カネカファーマベトナム竣工、稼働
●心臓疾患治療用のバルーンカテーテル、国内最少サイズの開発⑦
- 2008** ●高エネルギー光に対する耐性と強度を持つ新たな耐熱耐光透明樹脂「ILLUMIKA」を開発
●超高熱伝導グラファイトシート「グラフィニティ」を開発
●イソブチレン系熱可塑性エラストマー「SIBSTAR」の商業生産開始
- 2009** ●天然界面活性剤「カネカ・サーフアクチン」の販売を開始⑧
- 2010** ●電気絶縁性と熱伝導性を有した新規「絶縁熱伝導性樹脂」開発
●有機EL照明パネル事業を本格展開
●カネカインディア設立
●カネカノイベイティブファイバーズ設立
●ベルギーのバイオテクノロジー企業Eugentec社と資本提携
- 2011** ●100%植物由来バイオポリマーの生産実証設備が竣工、稼働(高砂工業所)
●カネカモディファイヤーズドイチュアント設立
●台湾鐘化股份有限公司設立
●カネカコリア設立
- 2012** ●鐘化(佛山)化工有限公司(現:鐘化(佛山)高性能材料有限公司)設立
●高耐熱性炭素繊維強化複合材料向け新規熱硬化型イミド樹脂を開発
- 2013** ●カネカサウスマメリカをブラジルに設立
●カネカフーズインドネシア設立
●カネカUSマテリアル・リサーチ・センターを開設
- 2014** ●世界最高水準の寿命約5万時間と色変化の少ない有機EL照明パネルを販売開始
- 2015** ●国連前事務総長アナン氏が提唱した国連グローバル・コンパクトに署名
●欧州統括会社カネカヨーロッパホールディングカンパニーを設立
●テルモ株式会社と共同開発した末梢血管用PTAバルーンカテーテルを米国で販売開始
●カネカMSマレーシアを設立し、「カネカMSポリマー」の生産設備を新設
●再生・細胞医療に特化した研究開発拠点を設置
- 2016** ●セメダイン株式会社の株式を取得、連結子会社化
●ガーナに駐在員事務所を開設
●カネカUSイノベーションセンターを設立
- 2017** ●カネカ北海道を設立
●米国複合材用樹脂配合メーカー(現カネカエアロスペースLLC)を買収
●欧州企業とライセンス契約締結、ドッグコーティングバルーン事業に参入
- 2018** ●ヘンケル社の航空機用複合材事業を買収
●乳製品事業に参入
●スペイン乳酸菌会社への出資および製造販売ライセンス契約の締結
●生分解性ポリマーのレジ袋、国際協力機構の民間技術普及促進事業に採択
- 2019** ●米国医療機器会社へ出資
●カネカタイランドでエペラン、エペラン-PPの生産開始
●「ベルギーヨーグルト ピュアナチュール」の販売を開始
●カネカ生分解性ポリマーが欧州連合の全食品接触用途で使用可能に
●脳動脈瘤塞栓コイル新製品を発売
- 2020** ●国立競技場にシースルー太陽電池採用⑩
●「アピガン®錠」の原薬供給で富士フィルムと合意
●セブンカフェ新ラインアップのストローにカネカ生分解性ポリマーPHBH[®]が採用
●新型コロナウイルスに対するDNAワクチンの製造体制に参画
●日本たばこ産業株式会社と植物バイオテクノロジーに関する資産譲受に合意
●5G毫米波帯対応の超耐熱ポリイミドフィルムを開発
- 2021** ●海外事業



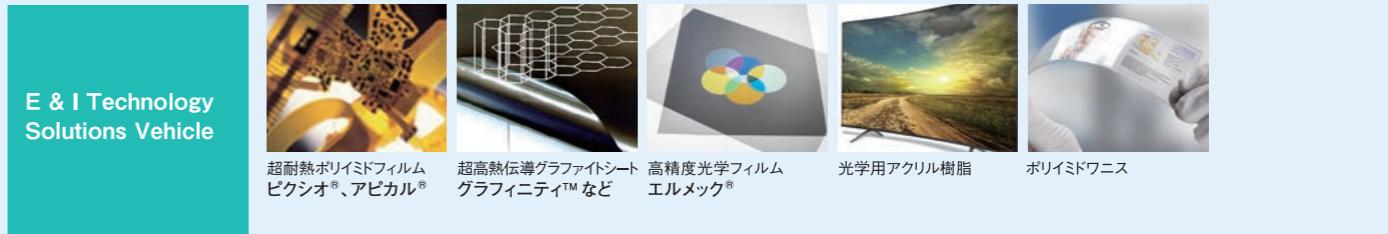
世界に必要とされる製品を次々と
この製品力が信頼力。



Material Solutions Unit



Quality of Life Solutions Unit



kaneka

<https://www.kaneka.co.jp>

